

回覧

元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(2丁目会館) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

バス減便回答 「路線継続に全力」(二宮町)

「輸送の最適化は不可欠」(神奈中)

ゲンコミ、緑が丘自治会など4団体のバス減便についての申し入れに対し、二宮町、神奈川中央交通は5/12(火)、文書で回答してきた。町は「朝夕の通勤・通学時間帯の路線を残すよう強く要望し、実施時期の延期についても協議している」と強調。神奈中は、運転士不足などバス業界の窮状を説明しているだけで、当方の要望には全く答えていない。昨春に神奈中が提起した二宮町内のバス再編を巡るやり取りはこの6月にもヤマ場を迎える。共同申入れの4団体は近々出される案や町の動きを見ながら次の取り組みに向けた準備を進める。



神奈中の減便方針によって、同じく駅北口便に依存する橋団地(小田原市)、石神台団地(大磯町)にも不安が広がっている。村田町長名で出された回答では、関係者は「最大限の路線の維持」とともに、「町民生活を支える地域公共交通のあり方についても協議中」としている。ただ、4団体が要望した当該住民が参加する協議の場の設置、中長期の観点からの検討などについては「いましばらく時間が欲しい」との表現にとどまっている。

団地中央バス停のハブ案も浮上?

(両者からの回答は裏面と、HPに掲載)

ゲンコミ令和8年度総会開く (裏面に要旨)

元気なコミュニティ協議会の令和8年度総会の概要は裏面、及びゲンコミHPを参照してください。

百合が丘自治会、ゲンコミとの関係解消通知 4/25付

百合が丘自治会は、元気なコミュニティ協議会(廣上正市会長)に対し、令和8年4月末をもって、一切の関係を解消する旨を通告してきた。同自治会とゲンコミは神奈中バスの減便問題への取り組みを取り上げたゲンコミだより50号(3月末発行)の表現を巡って二度にわたって抗議、返答文書のやり取りを繰り返してきたいきさつがある。同自治会の通告は以下の通り。

1. 当自治会および自治会長個人の名称・名義・肩書等を、今後一切使用しないこと
2. 当自治会を貴団体の活動・広報等に関連付ける一切の行為を行わないこと
3. 当自治会の事務所および関連機器の使用を行わないこと
4. 貴団体の配布物(回覧等)は自治会として一切行わないこと
5. 当自治会の貴団体に対する助成金を停止する
6. 当自治会役員の貴団体への役員等を辞退する



(これまでの経緯、及びこの問題に対するゲンコミの見解は、ゲンコミHPをご覧ください)

ゲンコミ R8 年度の役員総会は、4月19日に開催。7年度事業報告(総括)は以下の通り。

・ゲンコミの発足 4 年目に当たる令和 7 年度は事業面で大きな前進があった。事業規模は初年度比で倍増、国交省 助成を差し引いた前年度比でも倍の約 240 万円になった。最大の要因は一昨年秋から本格稼働した県営二宮なのはなハイツコミュニティルーム(CR)の運営が軌道に乗り、年間約 115 万円を稼ぐ事業に育ってきたためである。同 事 業の月間利用は 60 件ほどに増え、貸室、自主イベント収入は前年度比4倍に伸びた。健康づくり、音楽、生涯教育 分野を中心にした CR の利用拡大は地域住民にも歓迎され、財務基盤を含めたゲンコミの自主自立が視野に入ってきた。

・音楽活動、生涯教育など発足以来の部会事業も健闘しているが、事業拡大の余地はさほど大きくはない。そんな中 でシニア向けのスマホ教育、AI 講座などの新たな地域ニーズの高まりにも対応しつつある。これにまだ伸び代がある CR 事業を加え、並行して組織人員の拡充と若返り、管理運営のデジタル化を推進することによって、「自主自立の事業 態勢確立」にめどをつける必要がある。

・役員交代 新任:間瀬よね子氏(なのはな自治会長)、退任:田口謙吉氏(前緑が丘自治会長)、一石廣子氏(前なのはな自治会長)

(R7年度事業報告、決算・監査報告、R8 年度事業、収支計画、役員構成などは HP 参照)

令和 8 年 5 月 12 日

緑が丘自治会 会長 山本 正博 様
百合が丘地区社協部会 部会長 小笠原 陶子 様
一色・緑が丘地区社協部会 部会長 根岸 ゆき子 様
一色小学校区元気なコミュニティ協議会 会長 廣上 正市 様

二宮町長 村田 邦子



「百合が丘、緑が丘地区の路線バス減便への対応と中長期的な地域交通対策についての要望書」について (回答)

日頃より、町の施策にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

「来春に予定されている基幹交通の更なる減便に対する町の関与」については、現在、地区長をはじめ、PTA 代表、一般公募により参画いただいている地域住民の皆さまに加え、学識経験者や神奈川中央交通を委員とする「二宮町地域公共交通活性化協議会」において協議を行っております。

また、協議会内には幹事会を設置し、具体的な内容について慎重に協議を重ねています。

協議会の中では、町から神奈川中央交通に対し、地域住民の生活への影響を最小限に抑えるため、最大限の路線を維持していただくよう求めています。

具体的には、朝夕の通勤・通学時間帯は、利用者が多いことから、路線を残していただくよう、強く要望するとともに、地域の皆さまにもご理解いただきながら、丁寧に時間をかけて進める必要があるため、実施時期についても延期を含めて協議をしております。

幹事会では、町民の皆さまの生活を支える民間路線バスを含めた地域公共交通について、地域に適した交通のあり方を協議しています。

町では、地域住民の安定した生活を守るため、今後においても引き続き持続可能な地域公共交通の検討を進めてまいりますので、今しばらくお時間をいただきますようお願い申し上げます。

事務担当

二宮町企画政策課企画調整班 大木

電 話 : 0463-71-3312 内線 357

F A X : 0463-73-0134

メールアドレス:kikaku@town.ninomiya.kanagawa.jp